

入札説明書

この入札説明書は、愛媛県会計規則（昭和 45 年愛媛県規則第 18 号。以下「会計規則」という。）及び本件事業に係る入札公告において定めるもののほか、競争入札に参加しようとする者（以下「入札参加者」という。）が熟知し、かつ、遵守しなければならない一般的事項を明らかにするものである。

1 競争入札に付する事項

(1) 事業名

令和 7 年度離職者等職業能力開発事業（OA 総務実践コース）

(2) 事業の概要

別添 業務概要及び委託契約書（案）のとおり

(3) 訓練実施期間

令和 8 年 3 月下旬 ～ 7 月下旬

(4) 入札方法

一般競争入札

なお、入札は、(1) の事業のうち、訓練実施に係る訓練生 1 人あたり月額単価で行う。
また、落札決定にあたっては、入札書に記載された金額に当該金額の 10 パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の 110 分の 100 に相当する金額を入札書に記載すること。

2 入札及び開札の日時、場所等

(1) 日時

令和 8 年 1 月 15 日（木） 午前 10 時 00 分から

(2) 場所

愛媛県立愛媛中央産業技術専門校（今治市桜井団地 4 丁目 1 番 1 号）

(3) 開札

即時開札

(4) 入札にあたっての注意事項

別紙「入札上の注意事項」による。

3 入札参加者に必要な資格

- (1) 知事の審査を受け、愛媛県の製造の請負等に係る一般競争入札に参加する資格を有すると認められた者であること。
- (2) 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 の規定に該当しない者で

あること。

(参考) 地方自治法施行令

第 167 条の 4 普通地方公共団体は、特別の理由がある場合を除くほか、一般競争入札に次の各号のいずれかに該当する者を参加させることができない。

一 当該入札に係る契約を締結する能力を有しない者

二 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者

三 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（令和三年法律第七十七号）第三十二条第一項各号に掲げる者

2 普通地方公共団体は、一般競争入札に参加しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認められるときは、その者について三年以内の期間を定めて一般競争入札に参加させないことができる。その者を代理人、支配人その他の使用人又は入札代理人として使用する者についても、また同様とする。

一 契約の履行に当たり、故意に工事、製造その他の役務を粗雑に行い、又は物件の品質若しくは数量に関して不正の行為をしたとき。

二 競争入札又はせり売りにおいて、その公正な執行を妨げたとき又は公正な価格の成立を害し、若しくは不正の利益を得るために連合したとき。

三 落札者が契約を締結すること又は契約者が契約を履行することを妨げたとき。

四 地方自治法第二百三十四条の二第一項の規定による監督又は検査の実施に当たり職員の職務の執行を妨げたとき。

五 正当な理由がなくて契約を履行しなかつたとき。

六 契約により、契約の後に代価の額を確定する場合において、当該代価の請求を故意に虚偽の事実に基づき過大な額で行ったとき。

七 この項（この号を除く。）の規定により一般競争入札に参加できないこととされている者を契約の締結又は契約の履行に当たり代理人、支配人その他の使用人として使用したとき。

(3) 開札をする日において、知事が行う指名停止の期間中でない者であること。

(4) 業務を適切かつ円滑に実施する別表 1 入札参加資格確認表に掲げる施設、設備、指導体制、事務処理体制を有する者であること。

(5) 1 の(3)に示す訓練実施期間に、訓練の実施が可能であること。

4 入札参加資格の確認

(1) この一般競争入札に参加を希望する者は、様式 1 「入札参加資格確認申請書」（以下「申請書」という。）を愛媛県立愛媛中央産業技術専門校長に提出し、入札参加資格の確認を受けること。

(2) 提出された申請書等の内容を確認し、入札参加の可否について、入札参加資格決定通知書により入札日の前日までに通知する。

(3) 申請書の提出方法

ア 提出先

〒799-1534 今治市桜井団地 4 丁目 1 番 1 号

愛媛県立愛媛中央産業技術専門校

電話：(0898) 48-0525

イ 提出期限

令和 8 年 1 月 9 日（金）

ウ 提出方法

持参又は郵送（期限必着）

エ 受付時間

持参する場合は、土曜日、日曜日及び祝祭日を除く日の、
午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分までとする。

5 入札保証金

- (1) 入札に際しては、訓練実施に係る予定経費総額(入札者が見積もる入札金額×訓練生定員 15 名×訓練期間 4 月×110/100 に相当する額)の 100 分の 5 以上の入札保証金を納付しなければならない。
ただし、様式 2「入札（契約）保証金免除申請書」を提出し、免除の決定を受けた者は、これを免除する。（別記「入札（契約）保証金について」を参照）
- (2) 入札保証金は、落札者が契約を締結しないときは、愛媛県に帰属する。
- (3) 入札保証金に係る取扱いについては、会計規則の規定による。

6 契約保証金

- (1) 契約保証金は、契約金額の 10 分の 1 以上の額とする。ただし、様式 2「入札（契約）保証金免除申請書」を提出し、免除の決定を受けた者は、これを免除する。（別記「入札（契約）保証金について」を参照）
- (2) (1) に定めるもののほか、契約保証金に係る取扱いについては、会計規則の規定による。

7 契約書の作成

- (1) 競争入札を執行し契約の相手方が決定したときは、遅滞なく契約書を取りかわすものとする。
- (2) 契約書及び契約に係る文書に使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
- (3) 契約者が契約の相手方と契約書に記名して押印しなければ、本契約は確定しないものとする。

8 契約条項

別添 契約書（案）及び添付書類のとおり

9 その他の事項

- (1) 入札参加者は、入札公告等において求められた経済上及び技術上の要件について、愛媛県立愛媛中央産業技術専門校長から説明を求められた場合は、指定する期日までに入札参加者の負担において完全な説明をしなければならない。
- (2) 入札参加者又はその代理人が、本件の入札契約手続きに関して要した費用については、全て当該者が負担するものとする。
- (3) 本件の入札契約手続きに関しての照会先は、4（3）アに掲げるとおり。

(入札説明書裏面)

入札上の注意事項

1 入札会場における注意事項

- (1) 入札は入札参加者又はその代理人が出席して行い、郵送、電報、電送その他の方法による入札は認めないものとする。なお、原則として、入札会場には入札執行事務に関係のある職員を除き、他の者は入室できない。
- (2) 入札参加者又はその代理人は、入札開始時刻後は入札会場に入場できない。また、特にやむを得ない事情があると認められる場合のほか、開札が終了するまで退場することができない。
- (3) 代理人による入札を行う場合には、代理人は、入札開始前に、入札会場において、入札権限に関する別添「委任状」を提出し、入札執行者の確認を受けなければならない。
- (4) 入札会場において、次の各号の一に該当する者は、当該会場から退去させる。
 - ア 公正な競争の執行を妨げ、又は妨げようとした者
 - イ 公正な価格を害し、又は不正な利益を得るための連合をした者
- (5) 入札参加者又はその代理人は、本件委託業務に係る入札について2人以上の代理人となることはできない。また、他の入札参加者の代理人となることはできない。

2 入札の方法等

- (1) 入札参加者又はその代理人は、愛媛県会計規則、入札説明書、契約書（案）、業務概要等を熟覧のうえ、入札しなければならない。この場合において、当該契約書（案）等について疑義がある場合は、入札執行者に説明を求めることができる。ただし、入札後、契約書（案）等についての不知又は不明を理由として異議を申し立てることはできない。
- (2) 入札書及び入札に係る文書に使用する言語は、日本語に限るものとし、又入札金額は、日本国通貨による表示に限るものとする。
- (3) 入札書に記載する金額は、アラビア数字を用いなければならない。
- (4) 入札参加者又はその代理人は、書類の文字及び印影を、明瞭で、かつ、消滅しない物で記載又は押印しなければならない。
- (5) 入札参加者又はその代理人は、次の各号に掲げる入札書を提出しなければならない。この場合、愛媛県立愛媛中央産業技術専門校があらかじめ用意した入札書を使用することができる。
 - ア 委託業務名
 - イ 入札金額
 - ウ 入札参加者の住所、氏名（法人の場合は、名称又は商号及び代表者の職氏名。以下同じ。）及び押印（外国人の署名を含む。以下同じ。）

エ 代理人が入札する場合は、入札参加者本人の住所、氏名、代理人であることの表示並びに当該代理人の氏名及び押印。

- (6) 入札参加者の代理人は、委任状に、入札の際に使用する印鑑を押印すること。
- (7) 入札参加者又はその代理人は、入札書の記載事項を訂正する場合は、当該訂正部分に押印をしておかなければならない。ただし、金額部分の訂正は認めない。
- (8) 提出した入札書及び委任状の返還、引換え、変更又は取消しをすることはできない。
- (9) 入札執行者は、必要と認められるときは、当該入札の執行を中止し、若しくは取消し、又は入札日時を延期することができる。
- (10) 入札参加者又はその代理人の入札金額は、委託業務のうち訓練実施に係る訓練生 1 人当たり月額単価とする。なお、消費税及び地方消費税相当額については、契約の際に別途加算するので、消費税及び地方消費税相当額を除いた金額を入札書に記載すること。
- (11) 入札回数は 3 回を限度とする。3 回で落札しない場合において、予定価格と入札額の差が僅少のときは、2 回を限度として見積に移行するものとする。

3 無効の入札書

次の各号の一に該当する入札書は、無効とする。この認定は、入札執行者が行い、入札参加者及びその代理人は、意義の申し立てができないものとする。

- (1) 入札に参加する資格のない者又は代理権限がない者が入札したとき。
- (2) 入札参加者又はその代理人が 2 以上の入札をしたとき。(関与した全ての入札が無効)
- (3) 件名又は入札金額のないとき。
- (4) 入札金額を訂正して入札したとき又は入札金額の記載が不明瞭なとき。
- (5) 金額、記名、押印その他必要な記載事項を確認できないとき。
- (6) 本人が入札する場合は、入札書に入札者本人の氏名及び押印のない又は判然としないとき。代理人が入札する場合は、入札書に入札参加者本人の氏名、代理人であることの表示並びに当該代理人の氏名及び押印のない又は判然としないとき。
- (7) 委託業務等の名称に重大な誤りのあるとき。
- (8) 入札者が連合して入札をしたと明らかに認められたとき。
- (9) 入札者が入札に際して不正の行為をしたと明らかに認められたとき。
- (10) 入札保証金を必要とする者で、その額が所定の額に達しないとき。
- (11) 数回にわたり反復して行う入札において、前回の最低入札金額を上回る額の入札をしたとき。
- (12) その他愛媛県会計規則又は入札に関する条件に違反したとき。

4 落札者の決定

- (1) 有効な入札書を提示した者であって、予定価格の制限の範囲内で最低の価格でもって申込みをした者を契約の相手方とする。

- (2) 落札となるべき同価格の入札をした者が二人以上あるときは、直ちに当該入札者にくじを引かせ、落札者を決定するものとする。この場合において、くじを引かない者があるときは、入札執行事務に関係のない職員を入場させ、これに代わり、くじを引かせるものとする。
- (3) 落札者を決定したときは、速やかに、落札者を決定したこと、落札者の氏名並びに落札金額を、落札者とされなかった入札者に、入札会場にて告知するものとする。
- (4) 入札参加者及びその代理人は、入札後、入札手続、愛媛県会計規則、契約条項等についての不知又は不明を理由として異議を申し立てることはできない。
- (5) 入札参加者及びその代理人は、入札執行の完了に至るまでは、いつでも入札を辞退できる。入札を辞退するときは、その旨を記載した入札書又は入札辞退書を、入札執行者に直接提出することにより、申し出るものとする。また、数回にわたり反復して行う入札において、前回辞退した入札参加者及びその代理人は、以降の入札には参加できない。
- (6) 落札者が、指定の期日までに契約書の取り交わしをしないときは、落札の決定を取り消すものとする。

次ページに、委任状・委任状(記入例)・入札書・入札書(記入例)を示す。

委任状

令和 年 月 日

愛媛県立愛媛中央産業技術専門学校
校長 徳永 泰伸 様

住 所
商号又は名称
代表者氏名

印

私は、住所

氏名

印

を、代理人と定め、

下記に関する入札（見積）の一切の権限を委任します。

記

OA 総務実践コース 職業訓練委託費

例（代理人入札の場合に必要な）

委任状

令和 年 月 日

入札日を記載

愛媛県立愛媛中央産業技術専門学校
校長 徳永 泰伸 様

住 所
商号又は名称
代表者氏名



①社印 及び ②代表者印 が必要

私は、住所 △△市□□□町○-○

氏名 ○ ○ ○ ○ ○

勤務先住所又は自宅住所

③ を、代理人と定め、

代理印の押印（入札書の代理
印と印影が一致）
シャチハタは使用しないこと

下記に関する入札（見積）の一切の権限を委任します。

記

OA 総務実践コース 職業訓練委託費

（注）入札前に、委任状の提出を求めます。

入札書

令和 年 月 日

愛媛県立愛媛中央産業技術専門校
校長 徳永 泰伸 様

入札者

住所
商号又
は名称

代表者
氏 名

⑨

代理人
氏 名

⑨

¥ _____

ただし OA 総務実践コース職業訓練委託費

(1 人 1 ヶ月あたりの単価)

上記のとおり愛媛県会計規則を遵守し契約条項を承認のうえ
入札します。

例（代理人入札の場合）

入札書

令和 年 月 日
愛媛県立愛媛中央産業技術専門学校
校長 徳永 泰伸 様

入札日を記載

入札者

住所 愛媛県〇〇市△-△-△
商号又は名称 (株)〇〇〇学校

社印や代表者印を押印しないこと

代表者
氏 名 理事長 ■■■■

手書きで記入
(又は、ゴム印を押印)

代理人
氏 名 ○ ○ ○ ○

¥○○○○○○○○-

税抜き金額・アラビア数字で明
確に記載

代理印の押印（委任状の代
理印と印影が一致）

ただし OA 総務実践コース職業訓練委託費

(1人1ヶ月あたりの単価)

上記のとおり愛媛県会計規則を遵守し契約条項を承認のうえ
入札します。

令和 7 年度離職者等職業能力開発事業（OA 総務実践コース）
入札参加資格確認表（施設・設備・指導体制・事務処理体制等）

区分	要件
参加資格	愛媛県の製造の請負等に係る競争入札参加資格を有すること。
施設・設備	訓練実施施設の建物に係る所有権又は使用权を有すること。賃貸の場合は賃貸借契約を適切に締結し、使用目的に教室利用が明記されていること。
	訓練実施施設の所在地が今治市又はその周辺地域であること。教室の面積は、訓練生定員 1 人あたり座学においては概ね 2 ㎡以上、実習においては概ね 4 ㎡以上であること。
	訓練に必要なパソコン・プロジェクター・プリンタ・ソフトウェア等が、現に必要な数整備されていること。
指導体制	職業訓練に従事する指導員は、座学においては 1 人以上、実習においては 2 人以上を配置し、急病時等に指導に入る代替指導員を確保できること。
	指導員は、担当する訓練内容に関する資格を有し、当該訓練内容に関する指導歴が 1 年以上あること。
	訓練実施施設において、「民間教育訓練機関における職業訓練サービスガイドライン研修」を受講し、有効な受講証明書を有する者が在籍している、又は「ISO29993」及び「ISO21001」を取得していること。
事務処理体制	県内に独立した事務局体制を持ち、訓練生や産業技術専門校との連絡等が円滑に取れ、また、指導員が指導に専念できる体制となっていること。
就職支援	就職支援責任者及びキャリア・コンサルタントを配置すること。
	キャリア・コンサルタントの任にあたる者は、キャリア・コンサルタント（又はキャリアコンサルティング技能士（1 級又は 2 級）、職業訓練指導員免許）の資格を有していること。
訓練計画	訓練生が負担するテキスト類の種類・金額がわかる資料を提示すること。
	訓練カリキュラム(案)を提示すること。
デジタルリテラシーの設定	それぞれの訓練分野の特性を踏まえカリキュラムを設定するため、デジタルリテラシーを含むカリキュラムチェックシートを提出すること。

入札（契約）保証金について

1 入札保証金

(1) 入札保証金の納付

入札説明書に記載しているとおり、入札に先立ち、入札保証金の納付が必要です。

必要な金額を、次のいずれかで納付してください。

ただし、(4)に該当する場合は免除されます。

- ・現金
- ・小切手（入札日の 10 日前から入札日までの間に振り出されたもの。指定金融機関、指定代理金融機関又は収納代理金融機関が振出し又は支払保証をしたものに限る。振出人が入札参加者の小切手は取扱不可）

※指定金融機関等は別表 2 のとおり

(2) 入札保証金の額

訓練実施に係る予定経費総額（入札者が見積もる入札金額×訓練生定員 10 人×訓練期間 3 月×110/100 の金額）の 100 分の 5 以上が必要です。

（例）入札書に 50,000 円と記入する場合

$$\left(\begin{array}{l} 50,000 \text{ 円} \times 10 \text{ 人} \times 3 \text{ 月} \times 110/100 = 1,650,000 \text{ 円} \cdots \text{入札者が見積もる訓練経費予定総額} \\ 1,650,000 \text{ 円} \times 5/100 = 82,500 \text{ 円} \cdots \text{入札保証金額} \end{array} \right)$$

(3) 納付期限及び方法

- ① 入札前までに入札保証金納付書により納付してください。
入札保証金納付書には、次のとおり押印が必要です。
 - ・「代表者本人」が入札参加→代表者印
 - ・「代理人」が入札参加→委任状に押している印（代表者印は不要）
- ② 金額等を確認したうえで、入札保証金保管書を交付します。
- ③ 入札終了後、不落札の方には入札保証金を還付します。その際、保管金受領書に 200 円の収入印紙を貼付してください。
- ④ 落札された方には、契約保証金納付の際（契約保証金を免除するときは契約締結後）に還付します。

(4) 免除

- ① 保険会社との間に県を被保険者とする入札保証保険契約を締結した場合は、当該保険契約の証書を提出することにより、入札保証金が免除されます。
- ② 過去 2 年間に於いて、国及び地方公共団体等と種類及び規模を同じくする契約を数回以上にわたって締結し、かつ、これらをすべて誠実に履行している実績がある場合は、「入札(契約)保証金免除申請書」を提出することにより、入札(契約)保証金が免除される場合があります。
 - ・免除申請書提出期限 **令和 8 年 1 月 9 日(金) 午後 5 時 15 分**
 - ・申請書の審査結果は、入札日の前日までに通知する予定

2 契約保証金

落札者は、契約金額の 10 分の 1 以上の契約保証金が必要です。契約保証金の納付方法については、別途通知します。ただし、1 (4)等に該当する場合は免除されます。

指定金融機関等一覧区分

区分	金融機関名
指定金融機関	株式会社伊予銀行
指定代理金融機関	株式会社愛媛銀行
	愛媛県信用農業協同組合連合会
収納代理金融機関	愛媛信用金庫
	宇和島信用金庫
	東予信用金庫
	川之江信用金庫
	四国労働金庫
	愛媛県信用漁業協同組合連合会
	株式会社みずほ銀行
	株式会社三井住友銀行
	株式会社中国銀行
	株式会社広島銀行
	株式会社山口銀行
	株式会社阿波銀行
	株式会社百十四銀行
	株式会社四国銀行
	株式会社徳島大正銀行
	株式会社香川銀行
	株式会社高知銀行
	三井住友信託銀行株式会社
	観音寺信用金庫

(注) みずほ銀行及び三井住友銀行以外の収納代理金融機関については、県内に所在する本支店に限る。

入札参加資格確認申請書

令和 年 月 日

愛媛県立愛媛中央産業技術専門校

校長 徳永 泰伸 様

住 所 _____

商号又は名称 _____

代表者職・氏名 _____ 印

令和 7 年度離職者等職業能力開発事業（0A 総務実践コース）に係る入札参加資格について、下記のとおり確認申請します。なお、下記事項及び添付書類については事実と相違ないことを誓約します。

記

- 1 地方自治法施行令(昭和 22 年政令第 16 号)第 167 条の 4 の規定には該当しない。
- 2 愛媛県の製造の請負等に係る競争入札参加資格を有する。
- 3 入札をする日において、知事が行う指名停止期間中でない。
- 4 業務を適切かつ円滑に実施する施設、設備、指導体制、事務処理体制を有する。

添付書類

- ・愛媛県の製造の請負等に係る入札参加資格確認書の写し
- ・登記事項証明書(写)又は賃貸借契約書等(写)
- ・別紙 1 訓練実施場所等の概要
- ・別紙 2 機器・ソフトウェアの概要
- ・別紙 3 指導員分担表(予定している指導員の一覧表)
- ・別紙 4 指導員経歴書(各指導員の経歴・指導経験・所有資格がわかる資料)
- ・職業訓練サービスガイドライン研修の受講状況が分かる資料
- ・別紙 5 事務局及び連絡体制表
- ・別紙 6 就職支援担当者名簿
- ・キャリア・コンサルタント証(又はキャリアコンサルティング技能士 1 級 2 級、職業訓練指導員免許)の(写)
- ・別紙 7 使用教材一覧表
- ・別紙 8 カリキュラム案
- ・別紙 9 デジタルリテラシーを含むカリキュラムチェックシート

入札(契約)保証金免除申請書

令和 年 月 日

愛媛県立愛媛中央産業技術専門校

校長 徳永 泰伸 様

住 所

名称又は商号

代表者氏名

印

令和 年 月 日付で入札公告のありました「令和7年度離職者等職業能力開発事業(0A総務実践コース)」の入札(契約)における入札(契約)保証金について、愛媛県会計規則第137条(第154条)の規定により、入札(契約)保証金の免除を受けたいので、次のとおり申請します。

記

過去2年間において、国及び地方公共団体等と種類及び規模を同じくする契約を締結し、かつ、これをすべて誠実に履行した契約事例(2例以上)

契約名(コース名)	契約の相手方	契約日	契約期間

(注) 1 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。

2 上記に記載した契約事例に係る契約書の写し及び事業実績報告書の写しをそれぞれ添付すること。ただし、愛媛中央産業技術専門校長との契約事例については、添付を省略することができる。